

多数の企業で画期的取組

BCP協定書を締結

環境省内で会見を開催

安心安全の廃棄物処理・リサイクル全国ネットワークを運営するエコスタッフ・ジャパン（東京・中央、田部和生社長、☎03・5643・7222）と認定企業が6月27日、東京都内で「事業継続に関する協定書（BCP協定書）」に締結し、環境省内で記者会見を行った。発表は田部社長

と、認定企業の代表として碩孝光氏（東亜オイル興業所）、武田洋一氏（オイルプラントナトリ）、矢板橋一志（ミダック）が行った。災害時や事故発生時の事業継続に係るBCPについて、エコスタッフ・ジャパンと認定企業39社という多数の企業で協定を締結するもの。廃棄物処理業界



環境省内で記者会見を行った

のみならず、他の業界をみても大変珍しく、画期的な取り組みだ。東日本大震災時に述べた。

は、被災したオイルプラントナトリ（宮城県名取市）が自社のBCPに基づいて事業再開に取り組み、同社など東北の認定企業を他地域の認定企業が支援した。

田部社長は、「災害時には事業継続とともに、通常の廃棄物処理を滞りなく行うことも必要になる」と述べた。